

平成 24 年度採択 申請区分 I ⑧ 慶應義塾大学

「アジアの新出課題解決に向けたエビデンスベースドアプローチ 大学コンソーシアム」

●相手大学・機関

バンドン工科大学（インドネシア）、フィリピン大学ディリマン校（フィリピン）、マラヤ大学（マレーシア）、マレーシア科学大学（マレーシア）、チュラロンコン大学（タイ）、シンガポール国立大学（シンガポール）、ハノイ工科大学（ベトナム）、ガジャマダ大学（インドネシア）、カンボジア工科大学（カンボジア）、ブラビジャヤ大学（インドネシア）、ヤンゴンコンピュータ大学（ミャンマー）

●主な活動内容（概要）

本プログラムでは、日・ASEAN 大学のコンソーシアムを形成し、共同教育プログラムである EBA コースを開発している。具体的には、フィールドワーク、インターンシップ、授業科目（共通科目、専門科目、実践科目）、オープンセミナーを実施し、コンソーシアムに参加する大学の学生が、実際にパートナー大学を訪れたり、オンラインで参加することによって、互いの授業を受講できるような体制を築いている。

●プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等）

現状・課題

本プログラムでは、学生は複数の単位（サーティフィケート）を長期間にわたって取得することが求められており、学生の継続的な参加とその学生の管理に困難がある。また、このような原因により、周知が不足しがちとなり、学生交流学生数について目標値の達成ができていない。

成功事例

フィールドワークやインターンを取り入れており、現地でしかできない体験を提供出来ている。このため、参加した学生は成功体験として記憶しており、学習意欲の向上が見られる。また、フィールドワークの際に知り合った方々との継続した交流も見られる。

●学生交流数

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
受入	—	—	16	4	36	19	55	50
派遣	—	—	20	7	48	23	60	22

(※) 予定含む

